



発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

地域文化を育む民間施設



泉の森会館のギャラリー

狛江市内にはホールやスタジオ、教室を貸し出す民間の施設があり、趣味の創作や踊りなどさまざまな文化活動を行ったり、成果の発表や交流を行う場として地域の文化を育む上で大きな役割を果たしている。

泉の森会館

泉の森会館（元和泉1-8-12 ☎ 5497-5444 <http://izumino-mori.net/>）は、狛江駅北口の弁財天池特別緑地保全地区南側にあり、市民の文化と情報発信を目的に平成15年にオープン。本格的なギャラリーは市内唯一で、多目的ホールとともに創作活動の発表の場として多くの人に利用されている。



ノタリーノの北口2階のホール

3階建ての建物の2階にギャラリー、小会議室、カフェ、受付、3階に多目的ホールがある。2階は開設当初ミニショップだったが、17年にギャラリーとカフェ、小会議室、受付に改装された。ギャラリーは面積27平方メートルと25平方メートルの2室あり、仕切り壁を移動すると1室としても利用できる。団体や個人による展示会などが年間を通じて開催されている。

ホールは面積90平方メートルで音響や照

明、映像などの設備、グランドピアノを備えており、最大80人を収容できる。コンサートや演劇などの発表、踊りなどの練習や教室、講演会、幼稚園の謝恩会のほかパーティーなどさまざまな目的に使われている。

ノタリーノ

ノタリーノ（北口：元和泉1-2-1エコーM/I/南口：東和泉1-15-6WELL TOPビル ☎ 3480-6940）は、狛江駅の北口と南口の2カ所にある。

集会やパーティーなどを開きたいという地域のニーズに応え、昭和58年に狛江駅北口に市内で最も古い貸しホール

を開設した。その後、北口のノタリーノは小田急線の立体化に伴って施設のリニューアルを行い、平成7年にエコーM/Iビルの2階と3階にホールを開設した。2階は面積82平方メートルあり、カーペット敷きでカラオケ、音響機器、テレビ、ピクチャーレールを備えるほかテーブル12台、いす60脚もある。3階は98平方メートルあり、ショック吸収床になっている。いずれもバレエやヨガ、踊りなどの練習

や教室に使われるほか、2階は講演会やパーティー、カラオケ大会などにも利用される。南口のノタリーノは15年に3階建ての建物の2階に面積47平方メートルのホールを開設。床がカーペット敷きでテーブル8台、いす28脚、ホワイトボードを備え、教室や会議に使われている。

ポケット

ポケット（中和泉2-10-1 ☎ 3489-8033 http://www.pocket-komae.jp/rental_hole.html）は、狛江通りの松原交差点近くにあり、平成3年にオープンした。

建物の1階と4階が貸し出し施設になっており、4階のホールは面積約100平方メートルあり、市内の民間施設では最も広い。天井がアーチ型でバレエのリフトにも対応できる高さがあるのが特徴。通常はクラシックバレエや体操などのスクールに使われている。また、最大100人収容可能なため、俳句の会などに利用されることもある。

1階には面積約50平方メートルの教室が2室あり、学習、そろばん教室、英会話など子ども向けや、生け花、手編みなどおとな向けの教室に利用されている。



ポケットのホール



アイススタジオの1階のスタジオ

アイススタジオ

アイススタジオ（東和泉3-6-4 ☎ 3489-2433 <https://www.iistudio.jp>）は、東和泉三丁目交差点近くにあり、ダンスや演劇、音楽、イベントなど多目的に利用できるスタジオとして平成25年にオープンした。

地上と地下合わせて4つのスタジオがあり、1階の面積約70平方メートル、地下1階の33平方メートル、31平方メートルの3つのスタジオは床をリノリウム張りにしてあり、バレエやダンスなどの練習に配慮している。また、地下1階の18平方メートルのスタジオはフラメンコやタップダンスの練習にも対応している。いずれのスタジオも音響機器やプロジェクターなどが利用できる。

ダンスや踊り、楽器の練習や教室などに使われるほか、テレビや映画の撮影の際に控え室としても利用される。

みんなの広場

みんなの広場（東和泉2-20-12 ☎ 3480-6794 <https://komaeria.com/hiroba/>）は世田谷通りと水道道路との交差点近くにあり、地元の人々のたまり場をめざして平成19年にオープンした。



みんなの広場

33平方メートル、30人収容のスペースがある。大きな厨房が付いているのが特徴で、電子ピアノもあり、講習会や会合、コーラスなどの練習のほか、歌声広場、手料理を楽しむミニパーティーなどに利用されている。展示販売スペースがあり、「こまえ工房」のクッキーなどや市民の手作り品を展示・販売している。

多摩スタジオ

多摩スタジオ（東和泉3-3-10 ☎ 090-3142-3002 <https://rentalstama.wixsite.com/tamastudio>）は、和泉多摩川駅東口近くにあり、さまざまな用途に対応できるスタジオとして約30年前にオープン、3年前にリフォームを行った。



多摩スタジオの地下1階のスタジオ

泉の森友の会

泉の森友の会（井上昭一代表）は、オープンして間もない泉の森会館の事業を支援し、地域の文化活動の活性化と地域の人々の交流などを目的として個人91人、法人9団体で平成16年に発足した。

現在は個人会員105人、団体会員34団体に増え、会館の内外で活発な活動を行っている。

毎年開催する文化講演会は、「風船爆弾—平成の時代からみる登戸研究所の姿」「昔と今 狛江村を語る」「来て見てわかる狛江百塚」「狛江の発展と小田急線」「六郷用水の今と昔」など地域に密着したテーマを取り上げており、毎回大きな反響を呼んでいる。運営に携わる委員の多くが狛江出身で、自分たちで知人や関係者を訪ねて話を聞いたり、史料を集めたりすることも多い。六郷用水に関する講演会開催後に調査結果をまとめた小冊子を発行、郷土史の副読本として学校と市立図書館に寄付するなど、歴史を掘り起こし、多くの市民に伝える活動には評価を受けている。

7月には会館前の通りで近隣の店舗

の協力を得て「泉の森通り夏まつり」を開催、バンド演奏やフラダンス、おはやし、出店などのほか、阿波踊りも引き、例年多くの人でにぎわう。また、多摩川灯ろう流しの開催にも協力している。チャリティー活動にも力を入れており、23年の東日本大震災をきっかけに被災地支援のため、コンサートの収益金を被災地に贈っている。

委員約10人が会の運営に加え行事の企画・実施をし、年2回の会報の発行などを担当している。

年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円。

運営委員たちは「泉の森会館の名前と場所が多くの人に知られるようになりましたが、地域の文化をより高めるために若い人たちにもっと参加してほしいです」と呼びかけている。

問い合わせ ☎ 5497-5444 泉の森会館。



こまの講演会